

水深14mの岸壁を持つ佐伯港。5万トン級の大型船舶の入港が可能となり、地場産業の競争力の強化と、新たな臨海型産業の立地が期待されている。

佐伯の技術力を
より広い世界へ羽ばたかせる



産業用ロボット部品の製造工場



医療機器の製造工場



業務用冷蔵庫の製造工場



新入社員等が技術を学ぶ「造船技術センター」

九州一の広大なやさしさ
佐伯市 **Saiki Spirit**

商工業

佐伯市では豊かな自然を背景に戦前はセメント、戦後は造船、パルプ、合板などの臨海型の工業群を形成してきました。近年は臨海部で造船、水産加工業が発展する一方で、内陸部でも業務用冷蔵庫、医療機器の製造分野で全国的に高いシェアをもつ企業も立地しており、平成24年には製造品出荷額が初めて1,000億円を突破しました。今後も官民挙げて平成27年3月に開通した東九州自動車道や佐伯港新岸壁との相乗効果による企業誘致と地域企業の振興発展に努めます。

佐伯IC周辺を始めとする郊外には大型店舗や医療機関が相次いで出店し、新たなにぎわいが形成されていますが、その一方で空洞化が進む中心部の商店街の活性化にも取り組んでおり、さらに過疎化・高齢化が進む農山漁村地域の事情に即した「宅配事業」の取り組みも進めています。



遠隔地の暮らしをサポートする 宅配事業の取り組み

公共交通機関の廃止や、車が運転できないことなどにより移動手段がない世帯のために、商工会が中心となって日用品や食料品などを宅配している。